豊田ホタルの里ミュージアム

The Firefly Museum of Toyota Town

第１６回　特別講演会

深海のへんな生き物

～奇妙な形の甲殻類の調査と研究～

下村通誉先生（北九州市立いのちのたび博物館）

ここ数年、へんな生き物がブームのようで、テレビや本などで普段なかなか見ることができないような変わった形や生態をした生き物が紹介されています。とりわけ深海はへんな生き物の宝庫です。それは深海が暗黒、高水圧、低温、餌資源が少ないなど特殊な条件の環境であり、そこにすむ生き物は長い時間をかけて深海での生活に適応してきたためです。例えば、暗黒の環境に適応した体中がトゲだらけで色が真っ白い眼の無い甲殻類を見れば、一瞬「へんな生き物」と思われるかもしれませんが、深海ではトゲだらけで真っ白く眼が無いことが適応的な特徴というわけです。

私は深海の甲殻類の研究をしています。甲殻類とはエビやカニ、ダンゴムシなどの仲間です。深海とは水深２００メートルより深い海のことをさしますが、日本近海で最も深い日本海溝などでは水深７０００メートルを超えています。水深数千メートルを超える深海にすんでいる甲殻類とはどのような形をしているのでしょうか？私は調査船に乗船してビームトロールやソリネットとよばれる底引き網やプランクトンネットで深海の生き物を採集しています。採集した甲殻類を様々な視点から研究しますが、なんと言ってもまだ誰も見つけていないへんな形の新種を見つけた瞬間は非常に嬉しいものです。本講演では深海調査の楽しさと深海の甲殻類を中心に驚くべきへんな生き物を紹介します。

▲水深７４００メートルから採集された等脚目甲殻類の仲間（体長約5cm）

- 開催日時：平成 25年１０月６日（日）１３：00～１４：30
- 場　　所：豊田ホタルの里ミュージアム　多目的ホール
- 受 講 料：無　料
- 申し込み：電話・ＦＡＸ・E-mail にてお申し込みください.

  豊田ホタルの里ミュージアム

  電話：083-767-0350　ＦＡＸ：083-767-0355

  E-mail：kittsomu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

  ※ＦＡＸでお申し込みの方は下記フォームにご記入いただき、このままＦＡＸしてください.
- 申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます.
- 定　　員：４０名

豊田ホタルの里ミュージアム　行　　ＦＡＸ：083-767-0355

第 16 回「豊田ホタルの里ミュージアム特別講演会」参加申込書

（ふりがな）
氏　名

（ふりがな）
住　所（〒　　－　　）

電　話　　－　　－